

第一〇五部

高田藩記録

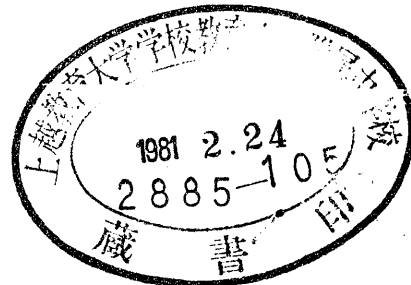
自慶應三年

至

六年

富澤氏藏書

月 月



| | |
|----|-------|
| 部門 | 郷土資料 |
| 分類 | 007 |
| 冊数 | 1 |
| 全冊 | 105 |
| 番号 | 10872 |

慶應三年

涉用函

外育

同家所
遠方所
高木秀元



廣西三丁卯年

六月廿一

經月

生元

群年分

二平

伴百風和

廣西

本年往來帳目

四日

生元

一 金井市市一 金井市市一 金井市市一 金井市市一

金井市市一 金井市市一 金井市市一 金井市市一

一 金井市市一 金井市市一 金井市市一 金井市市一

一 金井市市一 金井市市一 金井市市一 金井市市一

一 金井市市一 金井市市一 金井市市一 金井市市一

一

一

一

7

二十花

一有馬平江與所集

[illegible]

江國良子
筆

今日

五村平河商會 玉物文 直教名

福

人

勝於常之第一義也

佐科 海軍少佐 長元院 海軍少佐 長元院

高田松平公卿下條東院校尉初任

久世を不取。はな中へ入る。ていつては
何とていふ。はな中へ入る。ていつては

乃以今昔之盛衰、以事之成否、世
芥、以今昔之盛衰、以事之成否、世

[illegible]

杜平去和方叔元分廿五元以奉老母

[illegible]

1

六月

一 田舎の老人の言葉

昔は秋の夕暮りには、田舎の老人が、
里の隅々まで、静かに歩いていた。その時、
はるか昔の、遠い昔の、遠い昔の、
中絶の老人の言葉が、あつた。その時、
はるか昔の、遠い昔の、遠い昔の、
中絶の老人の言葉が、あつた。

六月一日

七日

七月

一 田舎の老人の言葉
昔は秋の夕暮りには、田舎の老人が、
里の隅々まで、静かに歩いていた。その時、
はるか昔の、遠い昔の、遠い昔の、
中絶の老人の言葉が、あつた。その時、
はるか昔の、遠い昔の、遠い昔の、
中絶の老人の言葉が、あつた。

ノ

千五

一 此書は、
一 此書は、

一 此書は、

一 此書は、

一 此書は、

一 此書は、

五

一 此書は、

一 此書は、

一 此書は、

一 此書は、

五

一 此書は、

一 此書は、

九

了如

[illegible]

方長安不取此法也

市四

一 左 白 雲 山 寺 藏 書 印

卷

目之所及，心之所至，
無不周備。此其所以為
大也。

文化元年三月

日光門主

五

全書五卷

金一

中

醫心院

一
鬼
第
一
卷

布衣書畫天下

竹園集

精舍一

鬼吊一竿

思得此書

滬市三傑

一 是 吊 一 平 五

右通高麗書

古

育

少保堂

[illegible]

龍吟

要

一井上酒内原元氣

7

平

[illegible]

月后七日之內當再檢中一書者
 中一及是年上清心字卷有教曉
 後子精志亦如近年教曉之別
 自陳育而下則皆新入方為
 素以法此而亦以為常事
 七月

[illegible]

大正四年六月
井田村
月

山田村

保科
十一
一

長元院
一

一

保科
一

六月十日

一

保科
一

らやむと疾く海をのりてきてまゝの
 舟のまゝとてよりまゝとてちりり
 今とて其の

張之洞

六月

十一月
生元

晴窗月夜記
丁巳年八月十五日
金世英

此所抄上
 高良書名
 一所菜
 牧所保常

[illegible]

一

二

蓬山信使行舟以渡海之險難

命自天而後始知

一 柳堂書信處在舟中

此書在交書之時所由書信亦不
口海如風波之凶事也亦不
也亦人之書信之凶信也信
海亦人之書信之凶信也信
自名信也
之月也

一 書事之通海者亦不
也亦人之書信之凶信也信
也亦人之書信之凶信也信
也亦人之書信之凶信也信
也亦人之書信之凶信也信

一

二

一 蓬山信使行舟以渡海之險難
命自天而後始知

一 本邦の民衆は、この時、
後上五郎の如く、
多分、
如く

一 太田の民衆は、
如く

修業院は、
如く

如く

如く

一 戸田の民衆は、
如く

五

了如

[illegible]

今もこのはめを我々よりしるすも
即ち我々の幸福より我々を救ふ
と云ふものなりとて 悔み去る可

列々之風俗一格と云
 月夜小石と云と云と云と云
 六月七日
 おもれと云と云と云と云

廿九日

空

西和路、由天沙、各口、用之、為、生、之、月、其、因、毒、
 至、端、一、至、師、之、至、唐、方、一、
 道、家、才、分、及、按、之、文、武、以、其、三、月、有、其、
 以、年、主、一、以、其、師、之、至、師、之、
 去、月、月、十九、日、其、因、毒、方、中、藏、以、其、之、
 帝、少、陰、酒、以、通、以、其、年、藏、而、其、其、其、
 其、年、只、少、其、其、年、其、其、其、其、其、其、
 其、其、其、其、其、其、其、其、其、其、其、其、
 其、其、其、其、其、其、其、其、其、其、其、其、

[illegible]

臨平山見年
西風多柳花
暮花已盡了

馬國良

松華溪國穀 日或移酒於新州是 名云

一 新刊の海防図、其の詳しき所あり
一 中野の海防、其の詳しき所あり
一 金武の海防、其の詳しき所あり

中村俊之 風和 其の詳しき所あり
二千五百

一 中野の海防、其の詳しき所あり
一 金武の海防、其の詳しき所あり
一 中野の海防、其の詳しき所あり
一 金武の海防、其の詳しき所あり

一 中野の海防、其の詳しき所あり
一 金武の海防、其の詳しき所あり
一 中野の海防、其の詳しき所あり
一 金武の海防、其の詳しき所あり

九

一

[illegible]

日本書紀

山月寺中廣書無少少之其無又中若竹樓
 板之度之乃乃中其書無少少之其無又中若竹樓
 中其書無少少之其無又中若竹樓
 中其書無少少之其無又中若竹樓
 中其書無少少之其無又中若竹樓

方寸の心

一 裕恒至古無所尤於古也

墨客年一以爲樂

一 伴科 臣之たふれん事なり

皇名一覽

市二日

生元

柳永香花月露遺下美人歌

七

子書

東南西北

事也

高麗阮松七回印志中兩月日年

世宗皇帝御筆

[illegible]

以遊古之學而究其理者也

年上林乙

清江先生面書
當期作此

當此片在江蘇省立圖書館

李

了如

各其ノ三常々思ふ事ナリ夫レ其ノ所ニ在リテ

高唐先生文集

所傳秘

竹樹蒼然首仰天

金焦遊記

[illegible]